



こんにちは!
菊地葉子です

～道政報告～ No.29

2018年3月号

トド被害対策を強化し、漁業被害の軽減を

昨年12月7日、2017年度第4回定例道議会予算特別委員会で菊地葉子道議はトド等海獣被害対策や森林づくりを担う人材育成などをとりあげ質問しました。

トドの増加により被害額は増加

海獣による漁業被害額は21億4千万円（前年比で2億3千万円減）で、このうちトド被害は15億9千万円、オットセイ2億8千万円、アザラシは2億6千万円でした。菊地道議はトドの採捕数は増加しているのに被害額は減少していないと質問。トドの個体数が急激に増加しており、4割減を目標に駆除する方針が説明されました。

自主休漁などの実態調査で本当の被害額に対策を

被害額は刺網が破られるなどの直接被害、漁獲物の食害による低価格や刺網等の敷設の減少などの間接被害の合計です。

菊地道議は「魚は獲れるのに網を破られるために自主休漁に追い込まれ、漁獲の減少になっている、休漁の実態調査を行い本当の被害額をだして、対策を検討すべき」と質問しましたが、漁業被害対策の充実強化に取り組むとの従来の答弁にとどまりました。



現実的で有効刺網購入費補助の導入を

菊地道議は羽幌町などの実例をあげて、被害対策が実効性をあげるまでの間、今すぐ漁業者への支援対策としてトド被害による刺網購入費補助を求めました。

山木水産基盤整備担当局長は「道として、刺網などの被害に対する補償など、新たな支援制度の創設を国に要請する」と答弁しました。

北海道の森林づくりを担う 林業大学校の新設を予定

現在北海道では、将来にわたり林業・木材産業の成長を支える人材を育成する方針で、林業大学校の新設を予定しています。

菊地葉子道議は、「林業大学校で専門的知識、技術を習得し、経営を支える人材育成することは大切だが、教育の場として、人として成長していく基本的理念が重要だ」ととりあげました。

道内に期成会が8ヶ所もできており、歓迎する機運が高まる中、「今後林業、学校関係者だけでなく、学生や若者、地域住民の声をとりいれた学校づくりをすすめるため、全国から生徒募集するための最適な住まいの提供が必要ではないか」と

質問しました。

大澤林業振興担当課長は「今後、基本構想策定に向け、森林や木材利用を通じて地域との交流の検討を進める。学生の良好な生活環境を確保するため、地域と連携し受け入れ体制の整備も検討していく」と答弁しました。



生活相談をうけています

- ・月曜日～金曜日
- ・午前10時～午後4時

菊地葉子事務所

小樽市稲穂 1-12-205

ステーションハイツ

☎64-5591

